

III 本県の地域別商業構造

商店数、従業者数、年間商品販売額をそれぞれ地域別にみると、いずれも北勢地域が最も高い構成比を示しているが、1店当たり、および従業者1人当たり年間商品販売額では、中勢地域に次いで2番目となっている。

中勢地域は、商店数、従業者数、年間商品販売額の構成比はいずれも北勢地域に次いでいるが、1店当たり、および従業者1人当たり年間商品販売額では、最も高い値を示している。

南勢地域は、商店数、従業者数、年間商品販売額のいずれも構成比では3番目となっており、年間商品販売額は前回構成比を上回っている。

伊賀地域では、前回と比べ商店数が減少しているものの、年間商品販売額はわずかながら唯一増加している。

東紀州地域は、商店数、従業者数、年間商品販売額のいずれも前回を下回っている。

図11 地域別構成比

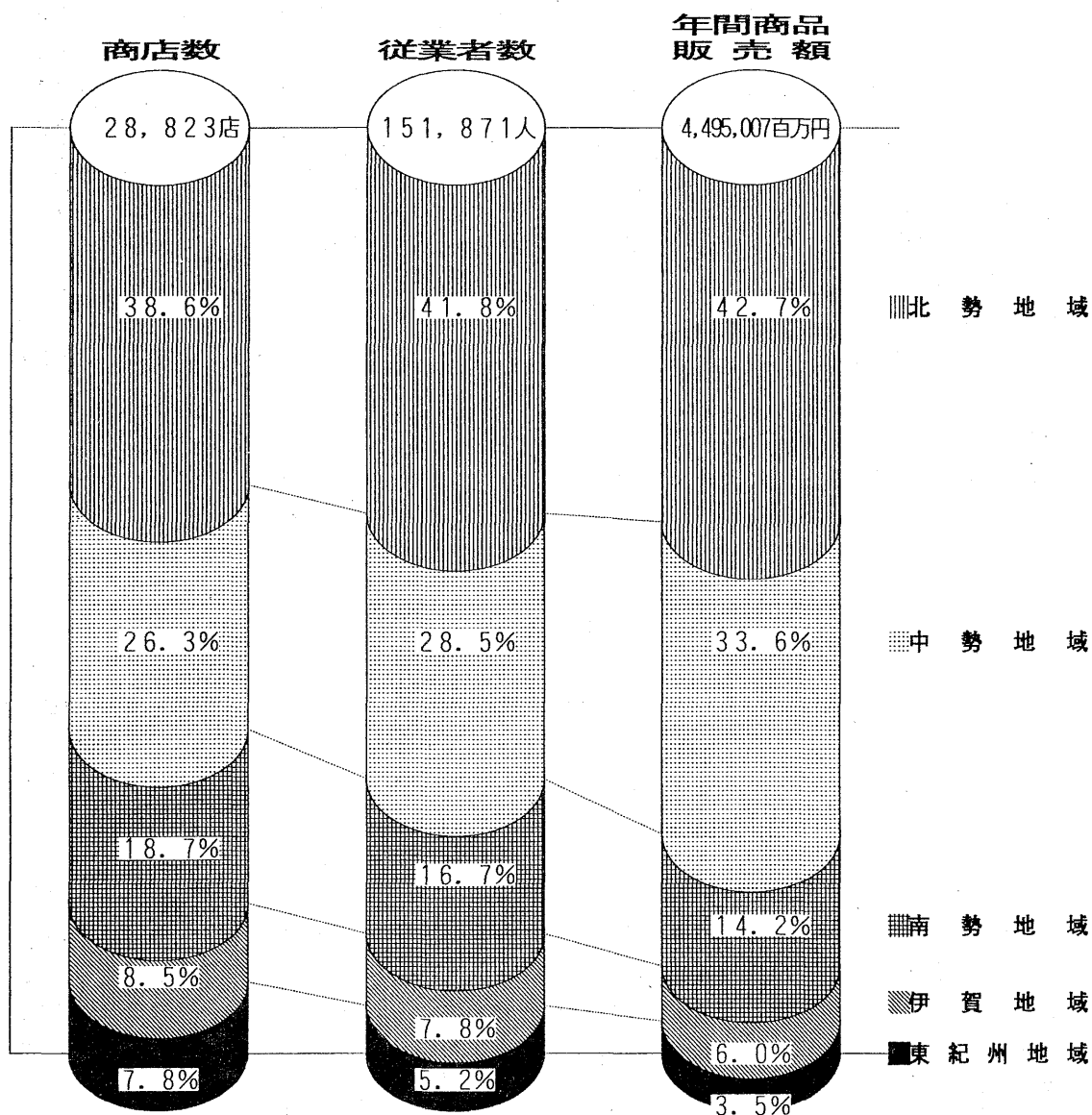


表13 地域別商店数

	平成3年			平成6年		
	実数(店)	構成比(%)	対前回比(%)	実数(店)	構成比(%)	対前回比(%)
合計	30,537	100.0	100.7	28,823	100.0	94.4
北勢地域	11,676	38.2	102.1	11,138	38.6	95.4
中南勢地域	8,018	26.3	98.7	7,590	26.3	94.7
伊賀地域	5,762	18.9	104.6	5,396	18.7	93.6
東紀州地域	2,643	8.7	99.0	2,447	8.5	92.6
東紀州地域	2,438	8.0	94.8	2,252	7.8	92.4

表14 地域別従業者数

	平成3年			平成6年		
	実数(人)	構成比(%)	対前回比(%)	実数(人)	構成比(%)	対前回比(%)
合計	141,560	100.0	99.8	151,871	100.0	107.3
北勢地域	58,285	41.2	101.2	63,439	41.8	108.8
中南勢地域	40,243	28.4	97.2	43,300	28.5	107.6
伊賀地域	24,258	17.1	104.5	25,414	16.7	104.8
伊賀地域	10,751	7.6	95.8	11,818	7.8	109.9
東紀州地域	8,023	5.7	95.1	7,900	5.2	98.5

表15 地域別年間商品販売額

	平成3年			平成6年		
	実数(百万円)	構成比(%)	対前回比(%)	実数(百万円)	構成比(%)	対前回比(%)
合計	4,715,181	100.0	120.9	4,495,007	100.0	95.3
北勢地域	2,078,074	44.1	133.2	1,919,202	42.7	92.4
中南勢地域	1,558,952	33.1	107.4	1,510,142	33.6	96.9
伊賀地域	638,626	13.5	130.0	637,917	14.2	99.9
伊賀地域	270,418	5.7	120.0	271,006	6.0	100.2
東紀州地域	169,111	3.6	99.4	156,741	3.5	92.7

表16 地域別1店当たり年間商品販売額

	平成3年			平成6年		
	実数(万円)	水準値(%)	対前回比(%)	実数(万円)	水準値(%)	対前回比(%)
県	15,446	100.0	120.1	15,595	100.0	101.0
北勢地域	17,807	115.3	130.5	17,231	110.5	96.8
中南勢地域	19,446	125.9	108.8	19,896	127.6	102.3
伊賀地域	11,085	71.8	124.3	11,822	75.8	106.7
伊賀地域	10,231	66.2	121.2	11,075	71.0	108.2
東紀州地域	6,945	45.0	104.9	6,960	44.6	100.3

表17 地域別従業者1人当たり年間商品販売額

	平成3年			平成6年		
	実数(万円)	水準値(%)	対前回比(%)	実数(万円)	水準値(%)	対前回比(%)
県	3,331	100.0	121.5	2,960	100.0	88.9
北勢地域	3,565	107.0	131.6	3,025	102.2	84.9
中南勢地域	3,875	116.4	110.6	3,488	117.8	90.0
伊賀地域	2,633	79.0	124.3	2,510	84.8	95.3
伊賀地域	2,515	75.5	125.4	2,293	77.5	91.2
東紀州地域	2,108	63.3	104.5	1,984	67.0	94.1

IV 本県の大規模小売店舗の現状

今回の調査結果を第一種大規模小売店舗（以下、一種店舗という）、および第二種大規模小売店舗（以下、二種店舗という）についてみると、総小売商店数に対し、一種店舗は5.4%、二種店舗は2.2%を占めているにすぎないが、年間商品販売額については、一種店舗は小売業の16.9%、二種店舗は同9.1%を占め、さらに、売場面積においては、一種店舗は小売業の20.8%、二種店舗は同11.1%を占めるに至っている。この結果、一種・二種合わせた大規模小売店舗は、小売業の7.6%の商店数で、その31.9%を占める売場面積から25.9%の年間商品販売額をあげていることになる。

また、形態別に販売効率をみると、面積あたりの販売効率は若干劣るものの、1店あたり、および従業者1人あたりの販売効率については、大規模小売店舗がその他の小売業を上回っている。

表18 形態別商店数、従業者数、年間商品販売額、売場面積（単位：百万円）

	小売業計		一種店舗		二種店舗		その他の小売業	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
店舗数	285	100.0%	67	23.4	219	76.5	—	—
商店数	23,769	100.0%	1,294	5.4	521	2.2	21,954	92.4
従業者数	108,879	100.0%	12,513	11.5	7,032	6.5	89,334	82.0
年間商品販売額	2,051,826	100.0%	346,331	16.9	185,696	9.0	1,519,799	74.1
売場面積	2,376,573	100.0%	494,387	20.8	264,789	11.1	1,617,397	68.1

表19 形態別販売効率

	小売業計	一種店舗	二種店舗	その他の小売業
1店あたり年間商品販売額（万円/店）	8,632	26,764	35,642	6,923
1人あたり年間商品販売額（万円/人）	1,885	2,768	2,641	1,701
1㎡あたり年間商品販売額（万円/㎡）	86	70	70	94

(注) 第一種・第二種大規模小売店舗とは、「大規模小売店舗における小売業の事業活動の調整に関する法律」（昭和48年法律第109号）に基づく出店手続きを終えたもので、以下の定義に該当するものをいう。

第一種大規模小売店舗………建物内の店舗面積の合計が3,000㎡以上の建物

第二種大規模小売店舗………建物内の店舗面積の合計が500㎡以上3,000㎡未満の建物

図12 形態別販売効率 1店当たり年間商品販売額

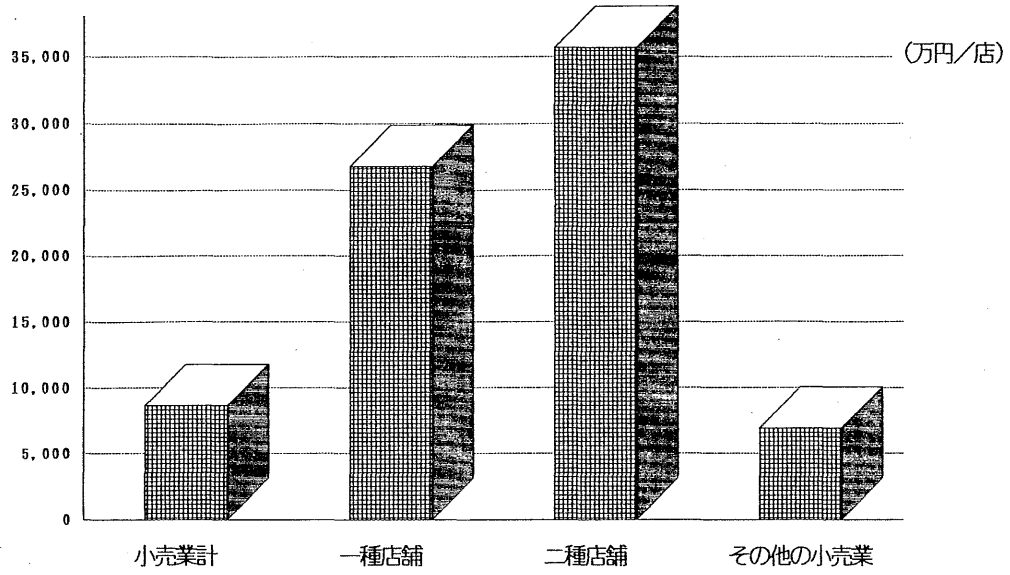


図13 形態別販売効率 1人当たり年間商品販売額

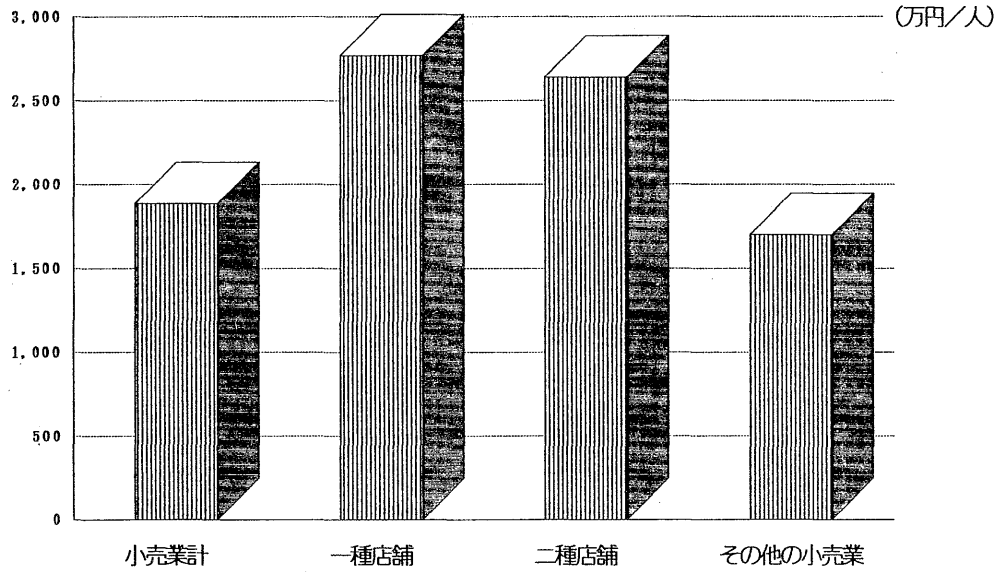


図14 形態別販売効率 1㎡当たり年間商品販売額

